

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」 三条校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			1対1の個別支援を提供している為1人のお子様に対して指導員1人が関わるよう配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			お客様の安全に配慮した支援環を整えております。また支援道具も消毒・安全点検を毎日行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			日次・週次で情報共有・ケース会議を開き、個々・事業所全体で統一した目標設定を行っております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者からのご要望・情報などは事業所間で共有・検討し、支援の質の向上・改善に活かしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			職員・保護者に記入頂き、ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	社内・保護者の二者評価を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			一か月の初任者研修・年間でも順次研修を実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			計画期間ごとにアセスメントを実施し、計画を策定しています。また統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			計画期間ごとにアセスメントを実施し、計画を策定しています。また統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			ケース会議を定期的に行い、支援内容の経過を確認しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			支援内容がマンネリ化しないよう、指導員を固定せず、様々な指導員との支援での関りを行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			短期目標、長期目標だけでなく、長期休暇に合わせてプログラムを設定し支援を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			事業所全体での振り返り・アセスメントを元に、優先順位をつけて短期目標と長期目標を設定し計画を策定しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝礼・終礼を実施し、情報共有・確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			朝礼・終礼を実施し、情報共有・確認を行っています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			支援計画を都度作成し、事業所間でも確認を行う事で共有しています。必要時にケース会議にて検討し改善を図っています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			担当指導員と定期的にモニタリングを行い、状況を見て見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			個々のお子様の状況に応じて多角的な形で支援を行っています。
関係機関 関係者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			お子様の支援に担当制は取っていませんが、すべての指導員がお子様の状況を把握し、チームでの支援を行っています。会議には児童発達支援管理責任者と指導員1名で参加する事が多くなっています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			必要時に応じて連絡を行い情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4	医療スタッフが従事していない為、医療的ケアが必要なお子様のお受け入れはしていません。必要時には医療機関も含めたご意見を基に慎重に判断していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			必要時、ケース等に応じて相談員共有のもと、情報共有を行う事もあります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	まだ卒業生がいない為、実績としてはありませんが、情報共有を行う体制は整えています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			外部専門家による研修や研修に行った指導員から事業所内で共有する機会を作っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	地域交流については、限られた支援時間の中での実施が難しいことから、参加できておりません。個々のお子様の状況に応じて、必要があれば計画に位置付けた上で実施を検討します。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			関係機関との会議へは積極的に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			支援後のフィードバックにて保護者の方と情報共有を行っています。
保護者への 説明	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			支援後のフィードバック時に困り感などご相談を伺い、適時アドバイスをしています。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			運営規定、利用者負担について、分かり易く、かつ丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援内容については、個別支援計画の提示、面談時にご説明するとともに毎回の支援後に保護者の方とのフィードバックの時間を設けています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。場合によっては別で相談の機会を設けています。

責 任 等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		感染症の状況を見ながら保護者間での共有の会を開催しています。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。場合によっては別で相談の機会を設けています。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		教室内に活動内容やイベント内容を掲示しています。またホームページや SNS 等を活用し発信しています。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	4		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行っています。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		お子様・保護者の方の要望・状況に応じて、ICTやその他視覚的情報を活用して意思疎通・情報伝達等を実施しています。また、合理的な配慮に関するハンドブックを作成するなど、合理的配慮の推進についても尽力しています。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	教室によっては指導の様子を公開したり、教室解放の時間を設けています。
	非 常 時 等 の 対 応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	
㉗		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		月 1 回の避難訓練を実施しています。
㉘		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		マニュアルを作成し、適時研修を行っています。
㉙		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		マニュアルを策定し、適時研修を行っています。保護者の方へは契約時に説明を行い、計画の特記事項にも記載しています。
㉚		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		全てのお子様にアレルギーの有無についてお伺いしています。支援時に該当物質との接触が起こらない様留意しています。
㉛		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		ヒヤリハットが起きた際には報告書を作成・保管し事業所内で共有し、再発防止に努めています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」 三条 校 保護者等数（児童数）： 54 回収数： 48 割合： 88 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	48			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	48			お子様一人に対して指導員1名を配置し、支援提供しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	32	13	3	視覚的な配慮・安全面の配慮を行い、必要時に合わせたスペースを確保しています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	48			達成できる課題を明確に提示し分かりやすく、見通しが持てる計画を策定しています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	44	4		マンネリ化せず、お子様の興味事を通して、楽しんで取り組める支援内容を日々模索し提示を行っています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		31	17	状況に合わせて関係機関との情報共有を行い、包括的な支援を行います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	48			ご理解頂けるよう伝え方も含めて分かり易い説明を心掛けています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	46	2		フィードバックを通して情報共有を行い、共通理解ができるよう努めています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48			フィードバックを通して情報共有を行っています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	37	11		感染状況を注視しながらご要望に応じて開催していきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	48			保護者の方に分かり易い説明を心掛けています。相談時は迅速に見直し対応できる体制を整えています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	48			フィードバックを通して情報共有を行っています。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	19	普段の活動やイベント内容などをホームページ・SNSを通じて発信しています。またご案内・掲載情報の周知が不足していた部分もありますので、周知を徹底していきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	48		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行っています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	48		マニュアルを策定し、適時研修を実施しています。感染状況を注視しながら対策の徹底を継続して行います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	9	ご利用時間が異なる為、個々に行っておりますが、全体訓練も都度実施しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	48		通常支援・イベントなど通所意欲が高まるような内容も配慮し、提供しています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	48		全ての保護者の方にご満足いただけるような支援を心掛けています。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。